

議会議案第4号

ユダヤ難民に対する人道的行為を行った小辻節三博士を顕彰する決議について

ユダヤ難民に対する人道的行為を行った小辻節三博士を顕彰することに関し、次のとおり決議する。

平成29年9月6日提出

提出者	鎌倉市議会議員	くりはらえりこ
同	同	上 竹田 ゆかり
同	同	上 長嶋 竜 弘
同	同	上 飯野 眞 毅
同	同	上 松中 健 治
賛成者	同	上 千 一
同	同	上 西岡 幸 子
同	同	上 池田 実
同	同	上 高野 洋 一
同	同	上 永田 磨梨奈
同	同	上 中村 聡一郎
同	同	上 伊藤 倫 邦
同	同	上 保坂 令 子

ユダヤ難民に対する人道的行為を行った小辻節三博士を顕彰する 決議

さきの大戦において、多くのユダヤ難民を救うために、「命のビザ」を発給した杉原千畝氏の人道的行為は、世界の国々の方からも高く評価されているところである。

しかし、この「命のビザ」を持ったユダヤ難民たちが、戦時下の日本の国を無事通過し、アメリカ・カナダ等へ安住の地を求めることができたのは、一人の鎌倉市民、小辻節三博士の尽力がなくてはなし得なかったことである。

小辻博士は、日独伊三国軍事同盟下、日本に滞在していたユダヤ難民たちの生活を守るとともに、ビザの有効期限を延長し、希望の地へと命をつなぐことに奔走した。

また、元鎌倉町会議員を務めた、石橋湛山氏の支援を得て、戦時下にもかかわらず、ユダヤ難民擁護のための執筆活動、講演活動に努めた。

迫害を受けていたユダヤ難民のために、みずからの命を顧みず行った勇気ある行動は、まさに粉骨砕身の人道的な偉業である。

その後の人生においても、自らの人道的な偉業を喧伝することなく、ヘブライ文化の研究者として、市井の人として生涯を終えた。

全国に先駆けて「平和都市宣言」をした鎌倉市としては、平和都市にふさわしい人道的行為を心の文化遺産として顕彰するとともに、鎌倉市民のみならず、多くの人々の心の文化遺産として語り継がれるよう決議するものである。

以上、決議する。

平成29年9月11日

鎌 倉 市 議 会